

第10代復興大臣 田中和徳 自民党・国政報告343号

衆議院議員田中和徳事務所
TEL:03-3508-7294
FAX:03-3508-3504
<http://www.tanaka-kazunori.com>
E-mail:k-tanaka@kamome.or.jp



7月より電動キックボードのルールを改定

≪ 田中和徳は自由民主党の交通安全対策特別委員会委員長 ≫

改正道交法に基づき、本年7月より電動キックボードの規制が緩和される。

今後、電動キックボードは高速の機体（原付）と低速の機体（特定原付）、2種類の機体が別々に生産され、それぞれ別のルールが適用される。

≪ 7月1日導入の新ルール 原付と特定原付を区別 ≫

	一般原動機付き自転車	特定小型原動機付き自転車（※新設）
走行場所	車道のみ	車道以外に、路側帯や歩道も可
速度制限	時速30km以下	車道や路側帯は時速20km以下 歩道走行時は時速6km以下
見分け方 緑色のランプ	緑色のランプ無し	車体の前方と後方に緑色のランプ有り 通常モードは常時点灯、歩道モードは点滅
年齢制限	16歳以上	
自賠償・プレート	必要	
運転免許証	必要	不要
ヘルメット	必要	努力義務

≪ 電動キックボード（原動機付き自転車）に関する現行ルール ≫

走行場所	速度制限	年齢制限	免許証・ヘルメット・自賠償・ナンバープレート
車道のみ	時速30km以下	16歳以上	全て必要

◀ 2022年 川崎区・幸区の交通事故と自転車事故の発生件数 ▶

本年4月、幸区小倉で小学生が亡くなる痛ましい自転車事故が起きた。

川崎・幸区は自転車事故多発地域であり、安全対策を進める必要がある。

電動キックボードは非常に不安定な体勢で運転をする乗り物であるため、その普及に伴って交通事故と死傷者の増加を招く恐れがあるので要注意。

田中和徳は、**自民党交通安全対策特別委員会委員長**を務める者として、

自転車や電動キックボードの事故防止対策の徹底に全力を尽くす。

	川崎区	幸区	神奈川県全体	日本全国
全ての交通事故の 年間発生件数	573件	279件	2万1098件	30万0839件
自転車関連事故の 年間発生件数	244件 (42.6%)	107件 (38.4%)	5405件 (25.6%)	6万9985件 (23.3%)

都市部で自転車や電動キックボードの事故が多発する原因

- ① 一時不停止、一方通行の逆走、スマホのながら運転、速度超過など、特に自転車利用者による交通ルールに違反した危険走行が多い。
- ② 都市部は狭隘道路が多く、歩行者・自動車と接触・衝突しやすい。
- ③ 高齢化の進行による高齢者の自転車利用者の増加。

ヘルメットと交通安全教育の重要性

自転車利用者の事故による死亡原因は、約6割が頭部負傷によるもの。

ヘルメットの非着用者の致死率は、着用者の約2.6倍にも達する。

また、自転車関連事故の約7割が自転車側の交通違反に起因しており、

事故防止には自転車利用者の安全意識を涵養することが不可欠である。